

## 目次

1. 巻頭言
2. 令和3年度 開放型登録医療機関紹介
3. 院内 QM 活動報告
4. 日本マネジメント学会（第19回九州・山口連合大会）報告
5. 編集後記



## 国立病院機構の理念

私たち国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のために、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに、患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。

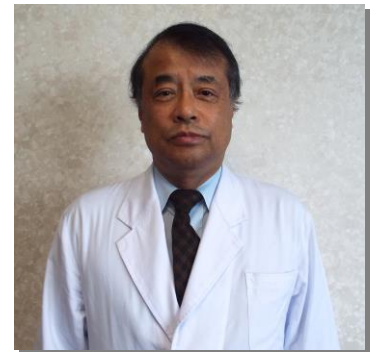


## 宮崎東病院の基本理念

「主役は病める人」をモットーとして患者さんの人権を尊重し、良質かつ高水準の医療を提供します。



## 巻頭言



院長  
塩屋 敬一

新年明けましておめでとうございます。

昨年はクリスマス前に寒波が訪れ、快晴が続き、年明けてからも霧島おろしが強く吹き付ける冬らしい天候となっています。都心では3年ぶりに雪が積もったそうです。

昨年はコロナに始まり、コロナに暮れた年でした。英国に発したアルファ株の襲来、次いでインドに由来するデルタ株に置き換わった第5波を経験しました。かつては鼻風邪扱いだったコロナウイルスが強毒となり、人の健康や経済を痛めつけました。県内の病院は国や県の指導の下、一丸となって、この危機に対処しました。ワクチンが始まり、新薬が認められ、9月以降、第5波は急速に勢いを失い、11月末には消滅するかにまで減少しました。

しかし現在南アフリカ由来の新たな変異株オミクロン株が蔓延しつつあります。感染力がデルタ株の約3倍と高いものの重症化率は低い、但しWHOによれば軽症ではないとのこと。

病院ではクラスター発生などを防止すべく職員の行動制限、患者様・ご家族の面会制限などを国の方針に従って実施します。病院内外の皆様方に多大な負担をお掛けするのではと懸念しています。

今年を見渡しますと、2月には臨床マネジメント学会宮崎県大会（延岡市）、北京オリンピック等が控えています。政治的には宮崎市長選、参議院選挙があります。院内では現在実施中のMRI機種変更完了、病院建物の改修など慌ただしい作業が予定されています。これらの諸活動をコロナ禍の行動制限の中で行わなければなりません。十分な準備と配慮が必要です。

またコロナ禍の中にあっても継続すべきは通常診療業務です。報道によれば健診・受診手控えによる病気発見の遅れや重症化が指摘されています。これは決して人ごとではなく、我々一人一人の健康維持の課題です。当院が引き続きその様な診療の場を提供し続けることが大事と考えます。

今年も様々な困難が起きるかも知れませんが、頼りとするのは皆様方の信頼とご協力です。本年も何卒よろしく願い申し上げます。

# 令和3年度 開放型登録医療機関紹介

## 青島リゾートクリニック

### 院長 木田 修 先生

〒889-2161

宮崎市大字加江田 5646-1

TEL : 0985-65-3567 FAX : 0985-65-2662

標榜診療科：内科、リハビリテーションセンター科



平素より当院への患者様のご紹介や、逆に当院からの入院依頼をお引き受け頂くなど大変お世話になっておりましたが、この度宮崎東病院の開放型登録医療機関に加えて頂きましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、当院は青島リゾートクリニックと申しまして、令和3年8月に開院致しました。旧山元リハビリテーションクリニック（医療法人愛鍼会）から経営母体が医療法人聖美会（山本智将理事長）に移行されたため医院名が変更になったものです。

当院は、青島が一望できる高台にあり、とても景色のよいクリニックで、小規模併設型の介護医療院17床と、医療療養病床2床を有しています。介護医療院は介護保険施設の中では医療ニーズの比較的高い方を受け入れる施設で、心不全や呼吸不全、意識障害があり経管栄養中の方、あるいはいくつかの神経難病などが入院対象となります。小さなクリニックの割には、広々としたリハビリ室や充実した訓練機器があり、リハビリ機能を生かしながら、慢性期医療や終末期医療を提供しています。

当院の隣に社会福祉法人愛鍼会の特別養護老人ホームがあり、顧問医療機関として管理しています。誤嚥性肺炎を起こされる方が多く、当院に入院できればよいのですが、介護保険病床では一旦特養を退所しなければならぬため、医療療養病床で引き受けることとなります。しかしわずか2床しかないため、空床がないことの方が多く、これまで宮崎東病院に多くの方をお引き受け頂きました。今後もお世話になることが多いと思われませんが、何卒よろしくお願い申し上げます。



#### ※開放型登録医制度

宮崎東病院では平成16年9月より開放型病床を設置しております。

開放型病床とは、かかりつけ医師（開業医）と宮崎東病院医師（主治医）とが連携して、入院診療を行うというものです。患者様にとっては、かかりつけ医師との関係がとぎれることがないため、入退院への不安が軽減されます。現在、104医療機関の先生方にご登録いただいております。

## 院内 QM 活動が開催されました

令和3年12月7日、3密に留意し院内 QM 活動発表会が開催されました。皆さんお忙しい中、頑張って発表していただき、今年も実りあるものになりましたと思います。世の事情を反映し、コロナ禍での取り組み、災害時に備えての取り組みが目立ったようです。いずれも重要なことであり、ますますの発展が期待される内容だったと思います。

内科医長  
谷岩 公博

演題内容は下記のとおりです。

部署	発表タイトル
放射線科	検査前に手指消毒率が低かったが、消毒薬の配置、消毒の意義を再確認することで消毒回数を増加させることができた。
病棟、看護部	アクションカードの取り扱いを周知することにより、災害発生時にとるべき行動をより明瞭なものにしたい。
児童精神科病棟	コロナ禍により面会や外出、外泊ができない。また入院前に病棟見学ができないなどの問題があったが、病棟案内の動画を作成することで患者家族の不安感を改善された。
栄養管理室	他の医療スタッフと情報を共有し、がん患者、低栄養、摂食嚥下機能低下の患者の抽出を行い栄養食事指導の件数を増やしたい。
薬剤科	薬剤科での 0 レベルインシデントを集計評価すると薬品名称、規格のインシデントが多かった。薬品棚の表示を工夫することによりインシデント減少につながった。
研究検査科	COVID-19PCR 検査を外部委託から院内検査に移行することにより、結果報告時間の短縮、検査件数減少抑制につながることができた。
リハビリテーション科	発語できない神経筋難病を有する患者さんにとってナースコールは生命維持装置に匹敵する。特殊ナースコール装置の習熟を図ることで対応に余裕が持てるようになった。
病棟	がんリハビリについての理解を深めることで看護実践に生かしたい。
病棟	長期療養患者の場合、病室に物品や私物が多い。整理することで環境整備ができ、看護の質向上に繋がった。
外来	外来での電話対応を円滑に行うためにフローチャートとマニュアルを作成し業務改善に繋がりたい。



### Coffee break

今日2月1日、ネットを見たら石原慎太郎氏死去という記事が出ていました。死因は、はっきりしませんが膵臓がんに罹患していたようです。作家としては「太陽の季節」「狂った果実」「生還」「弟」などの作品を発表し、特に「太陽の季節」では芥川賞を受賞し太陽族という流行語が生まれるきっかけになりました。政治家としては、右寄りのタカ派で、その言動の良し悪しは別として、それなりに人を引き付ける力のある政治家だったのかもしれませんが。ところで、平和憲法をもつ日本の首都東京に、平和博物館も平和資料センターもない。広島、長崎、沖縄には資料館があるのに、推定で十万人が死亡した東京大空襲について記念館一つない。それで、2000年頃に記念館をつくる運動があったようですが、都議会の反対や、石原慎太郎知事が財政難などを口実にこれを凍結してしまったことから実現しなかったそうです。現在、江東区に「東京大空襲・戦災資料センター」がありますが民営です。

石原氏は、晩年人に愛されて死にたいと言っていたとかいかなかったとか。私には、やや、むなしく聞こえるのですがどうでしょう。

## 日本医療マネジメント学会 第19回九州・山口連合大会での発表を終えて

令和3年11月20日(土)21日(日)、福岡国際会議場で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、WEB開催となりました。今回、令和2年度看護師長研究会の取り組みについてまとめ、「倫理的行動ができるスタッフ育成を目指して～倫理感受性を高めるための取り組み～」という演題で発表しました。

専従教育担当  
看護師長  
渡邊 仁美

近年、人々の権利意識の高まりや価値観の多様化等により、看護職にも倫理的判断が必要な場面が増えています。そこで、看護の質向上委員会を立ち上げ、倫理カンファレンスを毎月開催する中で、倫理を難しく捉えるのではなく、身近な問題として考えることができ、倫理的感受性の向上という成果を得ることができました。今後も、継続して倫理カンファレンスを実施し、倫理的問題について話し合える職場風土の醸成を図っていきます。そして、倫理的行動がとれるスタッフ教育を続けることで、看護の質向上につながることを期待しています。

## 日本医療マネジメント学会 第19回九州・山口連合大会に参加して

私は、「終末期肺がん患者ケアにおいて看護師が抱える困難感」について一般演題の発表をさせていただきました。COVID-19の影響で完全WEB開催となり、発表は音声付き発表データをWEB掲載する形となりました。学会独特な緊張感や発表に対する反応を直接感じる事が出来なかったことはとても残念でした。

2階病棟  
看護師  
藤代 奈美

しかし、LIVE配信で医療人権センターの方の招聘講演を拝聴し、ICの説明不足や医療者への不信感について相談が多いことを知りました。患者・家族が取り残されない医療提供となるよう、治療の中心にいる患者・家族の想いに耳を傾け、多職種を含めたチーム全体で支えていくことが必要であることを改めて考える機会となりました。

日本医療マネジメント学会  
第19回九州・山口連合大会  
次世代の医療マネジメントへ向けて～土を耕し、種を蒔く～  
会期 2021年11月20日(土)～21日(日)  
会場 福岡国際会議場 会場 藤 也寸志  
福岡市博多区石城町2-1 国立病院機構九州がんセンター 院長  
演題発表期間 2021年4月21日(水)～6月30日(水)  
事前参加登録期間 2021年5月12日(水)～9月15日(水)  
詳細は連合大会ホームページをご覧ください→<http://www.congre.co.jp/jmqy19/>  
プログラム構成案(予定)

特別講演  
「日本医療マネジメント学会の活動から  
今後の医療マネジメントの展望」  
講師 藤 也寸志  
特別講演  
「医療の質の向上を目指して～土を耕し、種を蒔く～」  
講師 藤 也寸志  
特別講演  
「人生100年時代を築いた日本の医療現場について」  
講師 藤 也寸志  
特別講演  
「患者と医療者のコミュニケーション」  
講師 藤 也寸志  
特別講演  
「医療現場で実践されている倫理問題の事例と対応」  
講師 藤 也寸志  
特別講演  
「医療の質の向上」  
講師 藤 也寸志



### 編集後記

とうとう、コロナオミクロン株がパンデミックとあってよいほどの勢いで拡大しています。感染に限らず災害を前にして人は、川に流れる浮草のようなものだとつくづく思い知らされます。昨年、「臨床の砦」(夏川草介)というコロナ禍を題材にした小説が出版されました。その中で主人公の敷島が、「何が正しいのかはわからない。しかし最善は尽くした。」吐露しているように、人の出来ることといえば、その程度かもしれません。とにかく収まるのを待つしかありません。ちなみに、「臨床の砦」に出てく人物の名前は、ほとんど日露戦争で活躍した軍艦の名前でした。病院が戦場であることを強調したかったのでしょうか。興味のある方は一読を。